

自ら学び 逞しく生きる 心豊かな生徒

中学校で学ぶ3年間で充実し、誰もが「自ら学び、逞しく生きる、心豊かな生徒」に成長し卒業できるように、歩んでほしいと思います。そのために上矢作中学校では、3つの重点を決め「自立・共生」の両面で考えながら教育活動を進めます。

「自立」：自らの力で未来を切り拓き、自立して生きる力

自分の力を伸ばす 自分の意思で行動する 率先して行動する 等々

「共生」：自他の良さや違いを理解し、共生する力

仲間と共に学び合う 協力する 思いやる心 正しい人権感覚 等々

自ら学ぶ生徒一重点①：学力の向上

主な活動…学校生活の中心は授業 ○基礎学力の向上 ○授業の工夫 ○読書の充実

「自立」…一生学び続ける基礎を作る。これからの時代は、社会の急激な変化に伴い、どんどん新しい勉強を続ける時代。そこで大切なのは、誰かに教えてもらうのではなく、必要な事を自ら学ぶ姿勢。自分の将来の目標に向けて、しなければならない課題はもちろん、自ら学ぶ「自主的な学習」も必要。

「共生」…コミュニケーション力を高める。黙々と黒板を写したり、話を聞いたりするだけでは学力は伸びない。課題解決に向けて、進んで意見を述べたり、仲間と相談したり議論したりすると、脳が活性化し理解も深まる。

逞しく生きる生徒一重点②：ライフスタイルの確立

主な活動…自己コントロール力を高める ○Happy Life Project ○清掃活動の充実

「自立」…他律から自律へ。健康の向上・維持。学校の仲間や先生、家の家族に言われて行動するのは他律の行動。自分の生活は自分でコントロールしていく力を高めることが必要。TVやゲーム時間等を自分でコントロールし、健康的な生活を自分で作ることが大切。

「共生」…学校生活の向上は仲間と共に作り出す。掃除や給食は自分の分担をこなした上で、仲間を手助けしたり協力したりする姿勢が必要。より良い学校生活を目指して協力する姿は掃除の姿に現れる。

心豊かな生徒一重点③：生き方の醸成

主な活動…将来を見つめる・仲間と高め合う ○キャリア教育 ○人権教育 ○合唱

「自立」…自分の将来や仕事に目を向け、自分の言動を正す心を高める。迷惑行為や嫌がらせを許さない心。自尊感情・自己有用感をもって将来へ向かう。

「共生」…他の人への敬意や感謝の心、思いやりあふれる人権意識を高める。仲間と共に生きるには相手の気持ちを推し量ることが必要。それが、迷惑をかけずに生きることにつながる。かけがえのない仲間と生活していくためには、悪口やいじめは論外。校内に掲示してある人権標語には、先輩達がこのことにこだわって学校生活を送っていることを示している。

主体的に学ぶ ＝ 気づき、考え、行動する

学校の教育活動（授業、行事、日常活動等々）が、生徒達の「主体的な学び」になるように、指導を工夫します。生徒達が主体的に学ぶために、「気づき、考え、行動する」姿勢を大切にして指導を行います。